



The Sumida Hokusai Museum



溪斎英泉「北斎肖像画」  
すみだ北斎美術館提供



北斎といえば「浪裏」に代表される「富嶽三十六景」。  
富嶽三十六景の各作品は、2020年から  
日本のパスポートのデザインにも採用されることが決まりました。  
しかしこれは、生涯で3万点もの絵を描いた北斎の画業のほんの一部。  
美人画、浮世絵、錦絵、絵手本と、北斎の作品は  
驚くほどバリエーションに富んでいます。  
すみだ北斎美術館で、  
あなたの知らない北斎に出会ってみませんか？



左上／世界に衝撃を与えたダイナミックな波。  
「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」  
天保2年(1831)頃 錦絵 大判  
すみだ北斎美術館蔵  
左下／山梨県河口湖畔から望む富士山。  
「富嶽三十六景 凱風快晴」  
天保2年(1831)頃 錦絵 大判  
すみだ北斎美術館蔵

# 世界の「北斎」に 会いに行く！

北斎の本当の魅力を知る！



4種の踊りの振り付けが図解さ  
れた踊りの指南書。躍動感あふ  
れるタッチは北斎ならではの  
『をどり独稽古』(部分)  
天保6年(1835) 絵手本  
すみだ北斎美術館蔵



すみだ北斎美術館の開館と同時に教育普及を担当、区内の小中学校への出前授業や史跡めぐり、講演などを多数こなす。現在、すみだ史談会終身講師、墨田区観光ボランティア養成講座講師、NPO本所深川講師。



北斎のここを見よ！

浮世絵から肉筆画、西洋画まで  
千変万化する北斎の画風

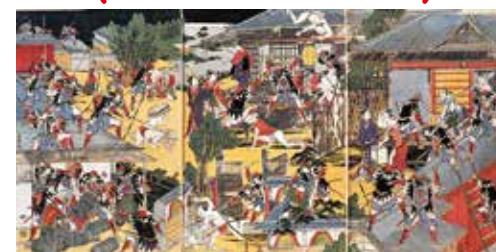
葛飾北斎は、宝暦10年（1760）年、本所割下水付近（現在の墨田区亀沢周辺）で生まれました。6歳から絵を描き始め、19歳のときに役者絵で人気を博した勝川春章に師事、翌年には「勝川春朗」の名で浮世絵界にデビューします。主に美人画、役者絵、黄表紙（大人向け読み物）の挿絵などを中心に描いていましたが、それに飽き足らず、幅広い題材の作品を発表するようになります。

北斎は、90歳という当時では驚くべき長寿を保ちますが、長い生涯の間に、およそ3万点を描いたといわれています。その画題や画風は千変万化していきます。そのたびに画号も変え、春朗を振り出しに、宗理、北斎、辰政、為一、画狂人など、名乗った名前は30以上。

どうしてこんなことがわかるかというと、明治時代に飯島虚心という浮世絵研究家が北斎の伝記を書き記しているからです。そのおかげで、北斎は他の絵師と異なり資料が多く、

北斎がどんな人物でどのように生き、どんな絵を描いたかがよくわかります。また、北斎の人間味を伝えるユニークで魅力的なエピソードも数多く伝わっています。

すみだ北斎美術館の常設展示室では、こうした資料に基づき北斎の画業を年代ごとに展示。絵にとりつかれた男・北斎の今も色あせない名作の数々と、北斎の破天荒な生涯の軌跡を追体験できます。



「忠臣蔵討入」天明年間(1781-89) 錦絵 大判



「新板浮絵三囲牛御前兩社之図」文化中期(1809-13) 頃 錦絵 大判



「椿説弓張月」文化4～8年(1807-11) 読本



「四代目岩井半四郎 かしく」安永8年(1779) 錦絵 細判



「隅田川兩岸景色図巻(部分)」文化2年(1805) 紙本

※すべて、すみだ北斎美術館蔵

北斎のここを見よ！

江戸の風景と人々をアートにした  
「富嶽三十六景」

北斎の代表作は、前ページでもご紹介している「富嶽三十六景」。特に「神奈川沖浪裏」の波の表現は世界に衝撃を与えました。北斎は47歳のとき、外房に波を見に行き、その後25年間波の研究をします。そして72歳のときに到達したのがこの怒涛のごとき波の表現でした。天才と評されることの多い北斎ですが、実は努力の人でもあったのです。



「富嶽三十六景 遠江山中」天保2年(1831) 頃 錦絵 大判



「富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見」天保2年(1831) 頃 錦絵 大判

北斎のここを見よ！

自由で細密でユーモラス  
暮らしのなかの  
森羅万象を描いた  
『北斎漫画』

北斎が50歳を迎えた頃、北斎の絵を学ぶ門人が全国に増えました。その数は200人以上とも。北斎は、実際に江戸まで足を運ぶことができない門人たちのために、絵手本の制作に情熱を注ぐようになりました。これが『北斎漫画』です。いわば絵を描くためのテキストです。

人の姿態や、動物、もの、風物詩など、あらゆるものをあらゆる角度から、実に生き生きと、流れるような筆致で描いた『北斎漫画』は大人気を博し、北斎没後の明治11（1878）年まで刊行され続けました。総冊数15編15冊、総画面数はおよそ3900点にも及びます。まさに「絵の百科事典」といえる内容でした。

実はこの『北斎漫画』こそ、北斎の名を世界に知らしめるきっかけとなったのです。

自由に描いていいんだ！

西洋の画家に与えた『北斎漫画』の衝撃

北斎が亡くなって4年後にペリーが来航。そして幕末から明治へと時代は移り変わり、日本の物産がどんどん世界に輸出されるようになります。そのひとつが茶器でした。その際、茶器が割れないよう、浮世絵や『北斎漫画』などをまわって詰めたといわれています。

海を渡った茶器は王侯貴族のもとへ、詰め物は捨てられます。ところ

が、この捨てられた『北斎漫画』を見た西洋の人々は驚嘆しました。当時西洋では、絵は室内でモデルを描くもの。対して北斎は、日の当たる屋外で、人やものや、生き物を自由に描き出していたからです。

北斎にインスピレーションを得た画家は、モネやゴッホなど、数知れず。北斎は、西洋絵画にも大きな影響を与えたのです。



『北斎漫画』初編 文化11年(1814) 絵手本





「須佐之男命厄神退治之図」(推定復元) すみだ北斎美術館蔵

## 引越しを繰り返した90年の生涯

### すみだと北斎

今からおよそ250年前に、現在の墨田区で生まれた北斎。幼い頃は、本所割下水、本所横網町、本所松坂町に暮らしました。12歳頃には貸本屋で働き、14歳頃には版木彫りの仕事をしていたとされています。北斎は画家として身をたててからもほとんどすみだで暮らしています。川が好きで、90年の生涯にわたって隅田川沿いを離れることがありませんでした。

人気作家なのに金銭には無頓着で貧乏暮らし、掃除をしないので、部屋が汚れるたびに90回以上も引越しを繰り返したなど、北斎の破天荒なエピソードには事欠きません。北斎は、絵を描くことにしか興味がなかったのです。

すみだ北斎美術館の「北斎のアトリエ」には、家財道具の少ない、紙ごみがちかった部屋で布団にくるまって絵を描く北斎と、娘のお栄の姿が再現されています。

北斎は、すみだの風景も数多く描いています。墨田区内の各所には、北斎の絵を表示した「葛飾北斎ゆかりの案内板」が設置されています。

すみだ北斎美術館の常設展示室にある「北斎のアトリエ」(AURORA)



©Forward Stroke



関東大震災以前の  
本所割下水



MAP P77 ©Forward Stroke  
立方体を組み合わせたようなフォルムで、アルミパネルに覆われた斬新な建物は、世界的建築家・妹島和代さんの設計。  
〒130-8545 墨田区亀沢2-7-2 9:30~17:30 (最終入館は~17:00)  
※月曜休 (祝日の場合は翌日休)  
※入館料 (常設展) 一般400円ほか ☎03-6658-8936

## おみやげはミュージアムショップで

北斎関連書籍や、ポストカード、浮世絵に関するグッズなど充実した品揃えです。



A5クリアファイル  
400円

所蔵品オリジナル  
ポストカード200円



北斎ゴールドトランプ  
1,500円



チケットホルダー  
350円



オリジナル  
キャンディー  
509円

北斎が90年の生涯を過ごした地に建つ

## すみだ北斎美術館

北斎ゆかりの地に建ち、貴重な北斎や門人の作品と、すみだと北斎の関わりを紹介する美術館です。



©Forward Stroke

## 充実した常設展示

北斎の代表作を高野線レプリカで時系列に展示。北斎とすみだの関係を知るとともに、北斎の生涯がたどれます。



©Forward Stroke

## AURORA (常設展示室)

北斎とすみだとの関わりや北斎の生涯をタッチパネル式情報端末で見ることができます。

## ユニークな 企画展を随時開催

すみだ北斎美術館の収蔵品をはじめ、国内外の作品も交えながら多彩なテーマの企画展を随時開催しています。

## 興味深い資料が 揃う図書室

北斎や浮世絵に関する入門書から専門書まで、画集、図録などが揃い、ゆっくりと閲覧できます。どなたでも利用することができます。



©Forward Stroke

## 展望ラウンジ

東京スカイツリー®をはじめ、すみだの風景が望めます。陽光が差し込むさわやかな空間です。

## 北斎のアトリエ

晩年、本所亀沢町に住んだ北斎の住まいの様子を描いた「北斎仮宅の図」(露木為一画)をもとに、北斎が暮らした部屋をリアルに再現しています。

## ちょっとひと休み

休憩スペースとして利用できます。ときにはここでワークショップなどが開催されます。



©Forward Stroke



©Forward Stroke